

基本計画 （政策2）

基本計画（政策２）

① 基本事業 2-1-1 の成果指標「自分の意見が尊重されていると思う子どもの割合」について

事前質問	【回答票（政策２）番号１】 成果指標が対象とする場面は、家庭、学校、地域等のどの場面か。	
当日質問・意見		
	回答	小学５年生、中学２年生及び１５歳から３９歳までの若者を対象にアンケートを実施する。特定の場面に限定せず、家庭、学校、地域、社会など日常生活のあらゆる場面において、周囲の大人が自分の意見を尊重していると感じるかを確認する。
審議	なし	
取り扱い	☐ 答申書に掲載する／ ☒ 答申書に掲載しない ☐ 計画書の修正を求める／ ☐ 取り組みを求める／ ☒ 特に何も求めない	
	文言	
市対応	☐ 済／ ☐ 要／ ☐ 不要	
	事務局	
	主管課	

② 基本事業 2-1-2 の基本事業名及び「めざす姿」について

事前質問	【回答票（政策２）番号２】 「めざす姿」が保護者の就労と子育ての両立を中心とした表現となっているため、子ども自身が安心して過ごし、遊び、育つという子どもの権利・子ども主体の視点を明確に位置付けるべきではないか。また、基本事業名についても、子どもの育ちを中心とした表現に変更できないか。	
当日質問・意見		
	回答	保育事業は、保護者の就労と子育ての両立を支えるだけでなく、子どもが安心して過ごす生活の場でもあると認識している。意見を踏まえ、子どもの権利・子ども主体の観点により明確に伝わるよう、基本事業名及び「めざす姿」の表現を再検討する。
審議	なし	
取り扱い	☒ 答申書に掲載する／ ☐ 答申書に掲載しない ☒ 計画書の修正を求める／ ☐ 取り組みを求める／ ☐ 特に何も求めない	
	文言	現在の基本事業のめざす姿は、保護者を主体とする表現となっているよう読み取れる。保育や放課後の居場所は子ども自身が安心して過ごし、遊び、育つための生活でもあることを鑑み、子ども主体の観点が明確に伝わるよう、表現を修正していただきたい。
市対応	☐ 済／ ☐ 要／ ☐ 不要	
	事務局	
	主管課	

基本計画（政策２）

③ 基本事業 2-1-2 の「めざす姿」、成果指標及び取組の方向性について

事前質問	【回答票（政策２）番号３】 放課後の居場所には多様な形態がある中、取組の方向性が学童保育所に限られているのはなぜか。また、学童保育所の待機児童数だけで安全・安心な育成環境を測るのではなく、事故・けがの件数や子ども・保護者の満足度等を指標とすべきではないか。
当日質問・意見	
回答	放課後の居場所には学童保育所のほか、塾、習い事、放課後等デイサービス、地域の活動拠点等があると認識している。一方、子どもの安全な放課後の居場所及び保護者の就労を支える基盤として、行政が公的責任を持って整備すべき柱は学童保育であると考えている。少子化が進む一方で共働き世帯の増加等によりニーズは高く、待機児童を発生させず受入環境を維持・確保することを優先課題としている。
審議	なし
取り扱い	☐ 答申書に掲載する／ ☒ 答申書に掲載しない ☐ 計画書の修正を求める／ ☐ 取り組みを求める／ ☒ 特に何も求めない
文言	
市対応	☐ 済／ ☐ 要／ ☐ 不要
事務局	
主管課	

④ 基本事業 2-1-2 の取組の方向性における障害児保育の表現について

事前質問	【回答票（政策２）番号４】 「障害のある子どもが身近な地域で健やかに育つ」との表現は、障害のある子どもを地域の外側に置く印象を与える可能性がある。「障害の有無にかかわらず、全ての子どもが共に育つことのできる保育環境」など、インクルーシブな表現に変更できないか。
当日質問・意見	
回答	障害のある子どもを地域の外側に置き、地域が受け入れるとの意図はない。意見を踏まえ、誤解を生じさせない表現への変更を検討する。
審議	なし
取り扱い	☒ 答申書に掲載する／ ☐ 答申書に掲載しない ☒ 計画書の修正を求める／ ☐ 取り組みを求める／ ☐ 特に何も求めない
文言	現在の基本事業の取組の方向性は、読み方によっては障害のある子どもを地域の外側に置く印象を与える可能性もある。そのような意図がないことを明確化するために、よりインクルーシブな表現に修正していただきたい。
市対応	☐ 済／ ☐ 要／ ☐ 不要
事務局	
主管課	

基本計画（政策２）

⑤ 基本事業 2-1-2 の成果指標「私立保育所等の障害児受け入れ数」について

事前質問	【回答票（政策２）番号５】 障害児受け入れ人数は対象児童数によって変動するため、保育環境の充実を測る成果指標として適切か。希望する施設を利用できた割合や、必要な支援・配慮を受けて安心して利用できていると感じる保護者の割合等を指標にできないか。
当日質問・意見	
回答	出生数が減少する一方、発達課題への認知の広がり等により早期に支援につながる子どもの割合は増加傾向にある。市が人件費を補助する障害児保育の対象児童数は、行政の支援実績と保育現場の受入実態を客観的に反映する指標と考えている。「希望する施設を利用できた割合」等は、障害の程度や専門的支援体制によって希望どおりの利用が難しい場合があるため、成果指標とすることは実態にそぐわない面がある。
審議	なし
取り扱い	☐ 答申書に掲載する／ ☒ 答申書に掲載しない ☐ 計画書の修正を求める／ ☐ 取り組みを求める／ ☒ 特に何も求めない
文言	
市対応	☐ 済／ ☐ 要／ ☐ 不要
事務局	
主管課	

⑥ 基本事業 2-1-2 の成果指標「私立保育所等の障害児受け入れ数」について

事前質問	【回答票（政策２）番号６】 障害児の受け入れ人数だけでなく、適切な支援が行われているかを確認する必要がある。障害児の保護者を対象とした保育環境の満足度等の指標はあるか。また、指標への追加は可能か。
当日質問・意見	
回答	障害児の保護者を対象とした満足度等の個別指標は、現時点では設けていない。新たな調査は、日々の支援に携わる保育施設や保護者の負担となるため、指標の追加は慎重に検討する。
審議	なし
取り扱い	☐ 答申書に掲載する／ ☒ 答申書に掲載しない ☐ 計画書の修正を求める／ ☐ 取り組みを求める／ ☒ 特に何も求めない
文言	
市対応	☐ 済／ ☐ 要／ ☐ 不要
事務局	
主管課	

基本計画（政策２）

⑦ 子どもの居場所及び移動手段の充実について

事前質問	【回答票（政策２）番号７】 酷暑により屋外で遊べない期間も長くなっているため、放課後や休日に子どもが安心して過ごせる屋内の居場所を充実できないか。公民館等の既存施設を子どもの居場所として開放することも検討できないか。
当日質問・意見	
回答	公民館等の既存施設の開放は選択肢の一つと考えられるが、実際の運用には、地域や民間との役割分担及び協力が必要である。
審議	なし
取り扱い	☐ 答申書に掲載する／☒ 答申書に掲載しない ☐ 計画書の修正を求める／☐ 取り組みを求める／☒ 特に何も求めない
文言	
市対応	☐ 済／ ☐ 要／ ☐ 不要
事務局	
主管課	

⑧ 教職員の充足状況及び人員確保対策について

事前質問	【回答票（政策２）番号８】 質の高い教育には働き方改革だけでなく教職員の充足も必要である。筑後市でも教職員不足が生じているか。また、人員確保のためにどのような対策を行うのか。
当日質問・意見	
回答	全国的な教員不足の課題は本市も例外ではなく、欠員時には常勤・非常勤講師の確保に努めるほか、管理職や主幹教諭が授業又は学級担任を兼務することもある。教職員の配置は県の責務であるため、県に適正配置を要望するとともに、市独自に全小中学校へ教員業務支援員を配置し、教職員の負担軽減を図っている。
審議	なし
取り扱い	☐ 答申書に掲載する／☒ 答申書に掲載しない ☐ 計画書の修正を求める／☐ 取り組みを求める／☒ 特に何も求めない
文言	
市対応	☐ 済／ ☐ 要／ ☐ 不要
事務局	
主管課	

基本計画（政策２）

⑨ 施策 2-2 の「めざす姿」について

事前質問	【回答票（政策２）番号９】 「めざす姿」が、困難に耐え、社会に適応できる子どもの育成に偏っているように見えるため、基本構想に沿って、子どもが自分らしく学び、可能性を伸ばし、よりよい社会をつくる主体となる視点を盛り込むべきではないか。また、求める教育への信頼を保護者からのものに限定すべきではない。
当日質問・意見	
回答	基本構想が教育の大きな理念を掲げる一方、基本計画では、予測困難な社会を自分らしく歩み続けるための実践的な力として「生きぬく力」を強調しており、両者は補完関係にある。「保護者に信頼される教育」は保護者の意向のみを優先する趣旨ではなく、子ども自身からの信頼や地域との協働も不可欠と認識している。また、困難を乗り越える力と、他者と協働してよりよい社会を創る主体性は、両輪として機能するものと捉えている。
審議	あり
委員	回答の上から４行目「子ども達はその荒波の中で折れることなく」との記載があるが、「荒波の中で折れる」とはどういう状況を示すのか。
市	持っている夢を諦めたり、チャレンジしたことにくじけないといった状況を想定している。
委員	「生き抜けない子ども」とはどういう子どもを指すのか。
市	「生き抜く力」とは文科省から発出される、教育基本法の中の教育体系で頻出する言葉である。子どもが夢を実現できるように成長することであったり、夢が実現できなかった際に再び次の目標を持つといったように、前向きに生きていく姿勢であったりすると捉えている。 できるだけ多くの子どもがそのような状態に至れる状況を実現することを施策のめざす姿とするところであるが、前向きな姿勢や意欲を持たない子どもを否定するものではない。この質問により委員が追求しようとする意図についても自覚しつつ回答している。委員の考えは理解するところである。
委員	文科省が使用する表現とのことだが、回答の文脈を見ると「生き抜く」という表現から「耐え抜く」という印象を受けてしまう。さらに「レジリエンス」や「粘り強く取り組む」といった言葉が続くと、どうしても教育により忍耐力を養おうとしているイメージが想起される。今後、忍耐力より柔軟性が重要となると考えているが、この表現については他の委員の意見も聞かせていただきたい。
市	レジリエンスという言葉は今回、文科省の教育改革の中で使用され始めた言葉であるが、壁にぶつかった際に乗り越える強さを表すとともに、「しなやかさ」の意味合いも含んでおり、柔軟に柔らかく、困難を越えていく様も表している。 壁を一生懸命に上って乗り越える姿勢も良いが、いろいろな人の助けや知恵を借りながら、その子なりに壁を越えていく能力という意味を込めている。 表現については委員の皆様の意見も伺いたい。
委員長	強さだけでなく、しなやかさであったり自己肯定感を子どもたちに求めているということと受け止めた。
委員	柔軟性の意味合いも含んでいる、ということですね。
市	学校教育の方針として出すと指摘を受けることがあるが、不登校対策について

基本計画（政策２）

		も不登校はだめという表現に捉えられがちだが決してそうではなく、不登校児童生徒についてもきちんとカバーをする意識をもって事業に取り組んでいる。 今回も、教育の方針を象徴する言葉を探して採用したが、同様の捉えられ方をされる余地はあることから、様々な機会を通じて説明していく必要があると考えている。
	委員	想いは理解する。一方で、当事者である不登校児童生徒や、その保護者が目にした時の印象も考慮して欲しいと考える。「しなやかに」という言葉は入っているものの、自己責任論のように見えてしまうことを懸念する。不登校の当事者の団体に参加した際に、当事者は想定以上にデリケートに受け止めている印象を受けた。そのような状況も踏まえ、配慮を求めたい思いがある。
	市	この質問に限らず、委員より様々な意見をいただき参考となる点も多いと感じた。また、計画書の表現についてニュアンスの差はあるものの、考えているところや理想とするところは同じなのだろうとも受け止めた。 せっかくの審議の場であるため、忌憚のない意見をいただいたうえでこちらも改めて考えていきたい。
	委員	該当箇所は計画の一番の土台になる部分であるため、様々な状況の人に包括的に受け止めてもらえる表現を心掛けてもらいたいと考える。
取り扱い		☒ 答申書に掲載する／ ☐ 答申書に掲載しない ☒ 計画書の修正を求める／ ☐ 取り組みを求める／ ☐ 特に何も求めない
	文言	本施策において市が目指す方向性は理解するが、様々な状況にある人に包括的に受け止めてもらえる表現に修正していただきたい。
市対応		☐ 済／ ☐ 要／ ☐ 不要
	事務局	
	主管課	

基本計画（政策２）

⑩ 施策 2-2 の「めざす姿」及び成果指標について

事前質問	【回答票（政策２）番号 10】 レジリエンスの向上を掲げながら、成果指標で自己肯定感を測る構成は適切か。 また、小学 6 年生の自己肯定感の目標値が現状値を下回る理由は何か。学校教育 の評価が保護者の満足度に限られているため、子どもの満足度も指標に加えるべ きではないか。	
当日質問・ 意見		
回答	自己肯定感は、困難を乗り越える精神的回復力の土台であり、レジリエンスの 育成状況を捉える指標として適切と考えている。目標値は「めざす姿」への到達 状況を確認する大まかな基準として設定している。また、子どもの状態や変化は、 満足度という単独の指標ではなく、自己肯定感、学力・体力、不登校児童生徒数 の動向等、複数の指標により総合的に把握する。	
審議	なし	
取り扱い	☐ 答申書に掲載する／ ☒ 答申書に掲載しない ☐ 計画書の修正を求める／ ☐ 取り組みを求める／ ☒ 特に何も求めない	
文言		
市対応	☐ 済／ ☐ 要／ ☐ 不要	
事務局		
主管課		

⑪ 施策 2-2 の成果指標「自分にはよいところがあると思う小学 6 年生の割合」について

事前質問	【回答票（政策２）番号 11】 一般的に目標値は現状値より高く設定するものとするが、小学 6 年生の指標 等で目標値が現状値を下回っているのはなぜか。	
当日質問・ 意見		
回答	成果指標は「めざす姿」にどの程度近づいたかを確認する代表的なモノサシで あり、大まかな基準として捉える必要があることから、一部の目標値が現状値を 下回る設定となっている。	
審議	なし	
取り扱い	☐ 答申書に掲載する／ ☒ 答申書に掲載しない ☐ 計画書の修正を求める／ ☐ 取り組みを求める／ ☒ 特に何も求めない	
文言		
市対応	☐ 済／ ☐ 要／ ☐ 不要	
事務局		
主管課		

⑫ 基本事業 2-2-1 の成果指標について

事前質問	【回答票（政策２）番号 12】 全国学力・学習状況調査の平均的な得点では、基礎学力が定着していない児童
------	---

基本計画（政策２）

	生徒の状況を把握できない。確かな学力の向上を測る指標には、基礎的内容が定着している児童生徒の割合を用いるべきではないか。
当日質問・意見	
回答	全国学力・学習状況調査の標準化得点は、全国共通の客観的な物差しにより、児童生徒の学力水準や経年変化を検証できるため採用している。個々の基礎学力の定着度は、日々の指導、校内評価、単元テスト等で把握し、総合計画では全国比較が可能な標準化得点を成果指標とすることが合理的と考えている。
審議	あり
委員	学校現場では、全国学力・学習状況調査の点数を向上させることが至上命題化しているという話も聞くため、この指標をあえて掲載すべきかと考える。
市	学力至上主義をめざしているわけではない。総合計画の基本事業として並べると考えると、心の育成と体の育成とあわせて、学力の向上を掲げることは避けて通れないと考えたもの。 ただし、目標値として設定したのは標準的な水準であり、市として必ずしも高い水準を目指しているものではない。あくまで一つのものさしとして見ていくこととしており、これが目標値を下回って推移する状況が生じれば、教育の方法の改善を検討するといった使い方をしたいと考えている。
委員	この指標が信頼性の高いデータであるとの事前回答もあったが、他に学力を測るものさしはないのか。
市	経年での比較や、全国における筑後市の立ち位置を把握する尺度として一番ふさわしいものであると判断している。
委員	市の考え方は理解したうえで、この基本事業は現状を測るために使用するものであり、数値ありきにならないよう、成果指標が独り歩きしないよう十分配慮のうえ運用していただきたいと考える。
取り扱い	☒ 答申書に掲載する／ ☐ 答申書に掲載しない ☐ 計画書の修正を求める／ ☒ 取り組みを求める／ ☐ 特に何も求めない
文言	成果指標はめざす姿にどの程度近づいたかを示すものさしのひとつとして設定されているとのこと、全国学力・学習状況調査の標準化得点の成果指標についても、独り歩きし数値ありきにならないよう十分配慮のうえ運用していただきたい。
市対応	☐ 済／ ☐ 要／ ☐ 不要
事務局	
主管課	

基本計画（政策２）

⑬ 基本事業 2-2-1 の成果指標「小学 6 年生の国語、算数の標準化得点」について

事前質問	【回答票（政策２）番号 13】 現状値 103.2 点に対し、目標値を 100.0 点以上としているのはなぜか。
当日質問・意見	
回答	全国学力・学習状況調査の標準化得点は、全国平均を 100.0 として算出される。目標値を 100.0 以上とするのは、得点を下げること intentions するものではなく、全国平均以上の学力を継続して維持する目標を示したものである。
審議	なし
取り扱い	☐ 答申書に掲載する／ ☒ 答申書に掲載しない ☐ 計画書の修正を求める／ ☐ 取り組みを求める／ ☒ 特に何も求めない
文言	
市対応	☐ 済／ ☐ 要／ ☐ 不要
事務局	
主管課	

⑭ 基本事業 2-2-2 の「めざす姿」について

事前質問	【回答票（政策２）番号 14】 「豊かな心の育成」の「めざす姿」が規範意識と将来の夢・目標に限定されており、狭義ではないか。自他の尊重、多様性、共感、対話、支え合い等を含む表現に見直すべきではないか。
当日質問・意見	
回答	「めざす姿」では、社会生活に必要な規範意識と、自らの未来を切り拓く夢や目標を、子どもに身につけてもらいたい基礎的・基本的な行動規範及び意欲として掲げている。自他の尊重、多様性及び支え合いを重視する提案とは表現上の切り口に違いはあるが、めざす姿の本質に乖離はないと考えている。
審議	なし
取り扱い	☐ 答申書に掲載する／ ☒ 答申書に掲載しない ☐ 計画書の修正を求める／ ☐ 取り組みを求める／ ☒ 特に何も求めない
文言	
市対応	☐ 済／ ☐ 要／ ☐ 不要
事務局	
主管課	

⑮ 基本事業 2-2-2 の成果指標「将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合」について

事前質問	【回答票（政策２）番号 15】 将来への不安や葛藤を抱える時期の児童生徒について、夢や目標の有無を「豊かな心」の成果指標とすることは慎重であるべきではないか。
当日質問・意見	

基本計画（政策２）

回答	義務教育の修了や次の段階への移行期にある子どもが、自らの将来を見据え、目的意識や前向きな意欲を持って学校生活を送っているかを把握するために採用している。夢や目標を持つことを強いたり、持っていない状態を否定したりするものではなく、子どもが自分の未来にどのような希望や展望を描いているか、その傾向を観測する指標である。
審議	なし
取り扱い	☐ 答申書に掲載する／ ☒ 答申書に掲載しない ☐ 計画書の修正を求める／ ☐ 取り組みを求める／ ☒ 特に何も求めない
文言	
市対応	☐ 済／ ☐ 要／ ☐ 不要
事務局	
主管課	

⑩ 基本事業 2-2-2 の成果指標の目標値について

事前質問	【回答票（政策２）番号 16】 「人が困っているときに進んで助ける児童の割合」と「将来の夢や目標を持っている小学６年生の割合」について、目標値が現状値を下回っているのはなぜか。
当日質問・意見	
回答	成果指標は「めざす姿」にどの程度近づいたかを確認する代表的なモノサシであり、大まかな基準として捉える必要があることから、一部の指標で目標値が現状値を下回る設定となっている。
審議	なし
取り扱い	☐ 答申書に掲載する／ ☒ 答申書に掲載しない ☐ 計画書の修正を求める／ ☐ 取り組みを求める／ ☒ 特に何も求めない
文言	
市対応	☐ 済／ ☐ 要／ ☐ 不要
事務局	
主管課	

基本計画（政策２）

⑰ 基本事業 2-2-4 の取組の方向性及び成果指標について

事前質問	【回答票（政策２）番号 18】 不登校の割合を学校教育の成果指標とし、「未然防止」を掲げることは、不登校を減らすべき問題とする印象を与える。不登校であっても、学び、相談、居場所、進路及び必要な支援につながっているかを測るべきではないか。また、小中連携を測る指標がなく、学校と地域の連携についても、連携の有無ではなく、その内容や子どもへの効果を測る指標にできないか。
当日質問・意見	
回答	不登校児童生徒の割合は、不登校を否定するためではなく、現状を把握し、支援を必要とする子どもに適切な支援や居場所が届いているかを経年観測する参考指標として設定している。目標値を現状値より高く設定したのは、割合を低く抑えること自体が目的ではないとの趣旨による。小中連携は日常的・網羅的な教育活動であり個別指標化が難しいため、その効果の一つを不登校児童生徒の割合で確認する。学校と地域の連携は学校関係者評価で把握し、質的な深まりや具体的効果については毎年度の報告書等で検証する。
審議	あり
委員	「不登校の未然防止に努めます」との表現は、当事者にとっては傷つく言葉だという訴えを再三耳にするとところである。目指す姿の真意は理解するが、様々な受け取り方をする人がいるなかで、表現の修正ができないか。
市	取組の方向性の真意については事前回答のとおりであるが、より適切な表現があれば審議いただきたいと考えている。
委員	学校に来て欲しいという意図があるのであれば、「子どもたち 1 人 1 人の個性や状況を理解し、学校生活の充実に努める」といった表現はいかがか。
委員長	不登校という言葉を使用しないない提案だが、いかがか。
委員	良いと思う。
委員	ここの表現について、用法に対する文科省の考えや指示などはあるのか。
市	文科省の文書中での用例については詳細には承知しないが、不登校対策において大事なことは未然防止だという内容は目にするとところである。 今、意見をいただいたように、子どもたちが来たいと思うような学校にすることであれば、当方の意図もそこに含むことができると考える。
委員長	計画書の修正を検討していただく意見として挙げさせていただきたい。
委員	学校に行けない理由には様々なものがあると考え。学校に行くとやらなければならないことがあり、家にいれば自由にできるので家にいる方が良いという子どももいる。学校に行かず家で Youtube を見たりゲームをしている子どももいる。学校側が来て来てというだけでなく、家庭のサポートも必要と考える。
取り扱い	☒ 答申書に掲載する／ ☐ 答申書に掲載しない ☒ 計画書の修正を求める／ ☐ 取り組みを求める／ ☐ 特に何も求めない
文言	取組の方向性の「不登校の未然防止に努める」との表現については、教育委員会が考える「子どもたちが来たいと思える学校にする」との真意が伝わりにくい。特に当事者に対しても真意が伝わるような表現に修正していただきたい。
市対応	☐ 済／ ☐ 要／ ☐ 不要
事務局	

基本計画（政策２）

主管課	
⑱ 基本事業 2-2-4 の成果指標「不登校児童生徒数の全児童生徒数に対する割合」について	
事前質問	【回答票（政策２）番号 19】 不登校児童生徒の割合について、現状値 4.4%に対して目標値が 5.0%となっているが、現状値より低い目標とすべきではないか。
当日質問・意見	
回答	目標値を現状値より高い 5.0%としたのは、不登校児童生徒の割合を単に低く抑えること自体が目的ではないという趣旨を示すためである。
審議	なし
取り扱い	☐ 答申書に掲載する／☒ 答申書に掲載しない ☐ 計画書の修正を求める／☐ 取り組みを求める／☒ 特に何も求めない
文言	
市対応	☐ 済／ ☐ 要／ ☐ 不要
事務局	
主管課	

⑲ 基本事業 2-2-5 の成果指標について

事前質問	【回答票（政策２）番号 20】 「児童生徒にとって安全安心で快適な学習環境」という「めざす姿」に対し、工事の着手率ではなく、子どもの満足度等を成果指標とすべきではないか。
当日質問・意見	
回答	老朽化対策等のハード面の更新は、安全・安心な教育環境の前提である。本基本事業は施設・設備の物理的更新を目的としているため、その進捗を着手率で管理することが適切と考えている。子どもの実感も大切にし、日々の学校生活や教育活動の中で把握した声を、施設環境の維持・改善に活用する。
審議	なし
取り扱い	☐ 答申書に掲載する／☒ 答申書に掲載しない ☐ 計画書の修正を求める／☐ 取り組みを求める／☒ 特に何も求めない
文言	
市対応	☐ 済／ ☐ 要／ ☐ 不要
事務局	
主管課	

基本計画（政策２）

⑳ 基本事業 2-2-5 における酷暑対策について

事前質問	【回答票（政策２）番号 21】 猛暑による活動制限が増えているため、酷暑を前提とした学校環境整備が必要ではないか。体育館への空調設備や、屋外活動時の日よけ・シェード等を整備できないか。
当日質問・意見	
回答	猛暑や熱中症から子どもの命と健康を守るとは、教育環境整備の優先課題の一つと認識している。普通教室及び全小中学校の特別教室への空調整備を完了しており、体育館への空調設備についても避難所機能の強化を含め検討している。屋外の日よけ等の環境改善に加え、暑さ指数の把握及び活動の中止・制限等の適切な運用を徹底する。
審議	なし
取り扱い	☐ 答申書に掲載する／ ☒ 答申書に掲載しない ☐ 計画書の修正を求める／ ☐ 取り組みを求める／ ☒ 特に何も求めない
文言	
市対応	☐ 済／ ☐ 要／ ☐ 不要
事務局	
主管課	

㉑ 政策 2 における「子どもを権利の主体とする」理念について

事前質問	【回答票（政策２）番号 22】 施策 2-1 では子どもを権利の主体としているが、施策 2-2 では、大人が望む子ども像へ導く教育が前面に出ているように見える。子どもが権利の主体として尊重され、自分の良さや可能性を実感し、安心して学び、自分らしい未来を描ける学校教育を重視すべきではないか。
当日質問・意見	
回答	子どもが権利の主体として尊重され、自分の良さや可能性を実感し、自分らしい未来を描く学校教育が必要との考えは、教育委員会も共有している。施策 2-2 の各取組は、子どもの権利や尊厳を守り、自らの権利を守りながら未来を切り拓くための土台を築くものであり、施策 2-1 の理念と一体的につながっていると捉えている。
審議	なし
取り扱い	☐ 答申書に掲載する／ ☒ 答申書に掲載しない ☐ 計画書の修正を求める／ ☐ 取り組みを求める／ ☒ 特に何も求めない
文言	
市対応	☐ 済／ ☐ 要／ ☐ 不要
事務局	
主管課	

②② 子育て・教育環境全般について

事前質問	【回答票（政策２）番号 23】 ①子どもの移動を保護者の送迎に頼る状況への対応、②金融・多様性・スマートフォン・ネット犯罪等に関する実践的な教育や筑後市ならではの特色ある教育、③子育て世帯の経済的負担軽減を進められないか。④子育て支援、学校教育及び公共交通の満足度が低い具体的な要因や、年代・地域等の属性別分析結果はあるか。
当日質問・意見	
回答	①一時的・短期的な送迎は、引受者が確保できる場合にファミリー・サポート事業で対応している。②多様性、金融、スマートフォン、ネット犯罪等は各教科等で学習しており、社会情勢や子どもの実態に合わせ、実践的な学びの充実に努める。また、地域の仕事や魅力に触れるキャリア教育・体験活動等、筑後市ならではの教育にも取り組む。③経済的負担については、保育料の軽減、医療費助成、学校給食費への助成等を実施し、支援拡充は財源や持続可能性等を踏まえて検討する。④市民アンケートは市全体の傾向把握を目的としており、具体的な不満内容を把握する詳細設問は設けていない。有効回答数は市全体の傾向を示す水準にあるが、属性別に細分化すると誤差が大きくなるため、詳細分析には限界がある。自由記述等から、子育て支援では屋内の遊び場や医療費負担、学校教育では教職員不足や負担増加等が満足度に影響していると考えられる。
審議	なし
取り扱い	☐ 答申書に掲載する／☒ 答申書に掲載しない ☐ 計画書の修正を求める／☐ 取り組みを求める／☒ 特に何も求めない
文言	
市対応	☐ 済／ ☐ 要／ ☐ 不要
事務局	
主管課	

基本計画（政策２）

㊦ 発達障害に対する対応について

事前質問	なし
当日質問・意見	発達障害に対する学校教育の対応について。不登校児童生徒に占める発達障害の割合が多いと新聞で目にした。発達障害は親の受け入れも難しいと聞く。逆に、医師の診断等により親の受け入れができれば、以降の対応がスムーズにいくともいう。今後、そのような子どもが増えると言われる中で、計画書中には記載が無いことから、学校現場での対応について伺いたい。
回答	ソーシャルスキルトレーニングといって、子どもたちがうまくコミュニケーションをとるための訓練プログラムを実施しているほか、全小中学校にスクールカウンセラーを配置しており、必要に応じ子どもや保護者、教職員に対するカウンセリングを実施している。私たちが子どもであった頃と比べればずいぶん進んでいるし、今後も充実を図りたい。
審議	なし。
取り扱い	☐ 答申書に掲載する／ ☒ 答申書に掲載しない ☐ 計画書の修正を求める／ ☐ 取り組みを求める／ ☒ 特に何も求めない
文言	
市対応	☐ 済／ ☐ 要／ ☐ 不要
事務局	
主管課	

㊦ いじめに関する状況について

事前質問	なし
当日質問・意見	市内の学校でのいじめの状況は。日本では、いじめめる子よりいじめられる子の方が対応を強いられる状況が多いと思っている。いじめにより自殺する子どもも少なくない。市の対応方針を伺いたい。
回答	筑後市に限らず、いじめとそれに起因する自殺は大きな問題だと考えている。未然防止のため、学校はアンテナを張って、１人１人の子どもをよく見て観察することが大事であると考えている。役に立つ情報の共有等により、日頃のサポートに取り組んでいる。
審議	あり
委員	自身が学生の頃は大人数に対し先生が１人という状況であった。今は少人数で先生も複数いる。それでなぜもめるのかと思う。以前も喧嘩はあったが、今は陰湿化している。時代とともに変化が生じているのだと思うが。
市	以前と比べ１クラスあたりの生徒数も減り、教員も増えている状況はある。しかし、子どもを取り巻く環境の変化が生じており、インターネットや SNS など親や教師の目が届きづらい空間が舞台となり、いじめや仲間はずれが生じている状況がある。
委員	総合計画中にいじめの件を記載するのは難しいと感じるので、現場で先生方に対応いただきたいと考えている。いじめの件数などは表記しにくいと考える。
市	いじめについてはその件数を減らすというよりも、今は早期発見を重視する考え方に立っている。数としては積極的にカウントするという姿勢であるが、その件数を何件以下にすればいいという取扱いや考え方にはなじまないことから、今

基本計画（政策２）

	回、指標の設定は行わなかった。
取り扱い	☐ 答申書に掲載する／ ☒ 答申書に掲載しない ☐ 計画書の修正を求める／ ☐ 取り組みを求める／ ☒ 特に何も求めない
文言	
市対応	☐ 済／ ☐ 要／ ☐ 不要
事務局	
主管課	